

第 8 期 決 算 公 告

東京都港区赤坂一丁目 1 2 番 3 2 号

アーク森ビルイーストウィング 1 7 階

代表取締役社長 山口 太一

平成 26 年度（平成 27 年 3 月 31 日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
現金及び預貯金	156,150	保険契約準備金	2,305
現 金	-	支 払 備 金	1,018
預 貯 金	156,150	責 任 準 備 金	1,287
有形固定資産	4,881	再 保 険 借	5,709
リ ー ス 資 産	790	そ の 他 負 債	109,754
その他の有形固定資産	4,090	借 入 金	100,000
無形固定資産	521	未 払 法 人 税 等	351
ソ フ ト ウ ェ ア	492	未 払 金	6,151
その他の無形固定資産	28	未 払 費 用	367
再 保 険 貸	7,999	預 り 金	608
そ の 他 資 産	10,154	リ ー ス 債 務	793
未 収 金	2	仮 受 金	1,482
前 払 費 用	8,938	負 債 の 部 合 計	117,769
仮 払 金	14	（純資産の部）	
そ の 他 の 資 産	1,199	資 本 金	150,000
供 託 金	11,000	資 本 剰 余 金	50,000
		利 益 剰 余 金	△127,062
		その他利益剰余金	△124,062
		繰越利益剰余金	△124,062
		株 主 資 本 合 計	72,937
		純 資 産 の 部 合 計	72,937
資 産 の 部 合 計	190,707	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	190,707

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

平成 26 年度 (平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	120,765
保 険 料 等 収 入	120,282
保 険 料	80,658
再 保 険 収 入	39,624
回 収 再 保 険 金	33,727
再 保 険 手 数 料	5,897
責 任 準 備 金 等 戻 入 額	466
支 払 備 金 戻 入 額	336
責 任 準 備 金 戻 入 額	130
資 産 運 用 収 益	15
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	15
そ の 他 経 常 収 益	-
経 常 費 用	174,420
保 険 金 等 支 払 金	93,699
保 険 金 等	38,918
再 保 険 料	54,780
事 業 費	79,832
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	78,061
税 金	689
減 価 償 却 費	1,081
そ の 他 経 常 費 用	888
経 常 損 失	53,654
特 別 損 失	-
税 引 前 当 期 純 損 失	53,654
法 人 税 及 び 住 民 税	319
当 期 純 損 失	53,974

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

《会計方針に関する事項》

1. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産（リース資産を除く。）
定率法を採用しております。
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を（自社利用分）採用しております。
 - (3) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
2. その他計算書類作成のための基本となる事項
 - (1) 消費税等の会計処理
消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式を採用しております。
 - (2) 責任準備金の積立方法
責任準備金は、保険業法施行規則第211条の46の規定に基づいて計算しております。
 - (3) 金額は記載単位未満を切捨てて表示しております。

《貸借対照表に関する事項》

1. 有形固定資産の減価償却累計額は、545千円であります。
2. リースにより使用する固定資産に関する注記
該当事項はありません。
3. 当期における支払備金及び責任準備金の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 支払備金の内訳 (千円)

	平成26年度支払備金		
	元受分	出再分	出再控除後 (当事業年度末残高)
普通支払備金	13,750	12,782	968
既発生未報告損害 に対する支払備金	199	149	50
合 計	13,950	12,932	1,018

保険業法施行規則第211条の52において準用する同規則第73条第3項及び第71条第1項に規定する、積立ないことができる再保険を付した部分に相当する支払備金の金額は、12,932千円であります。

(2) 責任準備金の内訳

(千円)

	平成26年度責任準備金		
	元受分	出再分	出再控除後 (当事業年度末残高)
普通責任準備金	3,515	3,258	256
異常危険準備金	3,866	2,835	1,030
合計	7,382	6,094	1,287

保険業法施行規則第211条の52において準用する同規則第71条第1項に規定する、積立ないことができる再保険を付した部分に相当する責任準備金の金額は、6,094千円であります。

4. 1株当たり純資産額は、5,209円84銭であります。

《損益計算書に関する事項》

1. 正味収入保険料（保険料から再保険料を控除した金額）は、25,877千円であります。
2. 正味支払保険金（保険金等から回収再保険金を控除した金額）は、5,191千円であります。
3. 当期における支払備金及び責任準備金の繰入額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳 (千円)

	支払備金繰入差異（26年度-25年度）		
	元受分	出再分	出再控除後 (当事業年度末残高)
普通支払備金	△4,690	△4,356	△334
既発生未報告損害 に対する支払備金	△1,109	△1,107	△2
合計	△5,800	△5,464	△336

支払備金繰入額の計算上、差し引かれた再保険を付した部分に相当する支払備金戻入額の内訳は、5,464千円です。

(2) 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳 (千円)

	責任準備金繰入差異（26年度-25年度）		
	元受分	出再分	出再控除後 (当事業年度末残高)
普通責任準備金	1,150	1,005	145
異常危険準備金	△15,801	△15,525	△276
合計	△14,651	△14,520	△130

責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた再保険を付した部分に相当する責任準備金戻入額の内訳は、14,520円です。

4. 1株当たり当期純損失は、3,855円29銭であります。